

月刊

ボランティア

2010年

10 No.146
月号

無料

ご自由にお持ち帰りください



今月の表紙イラスト

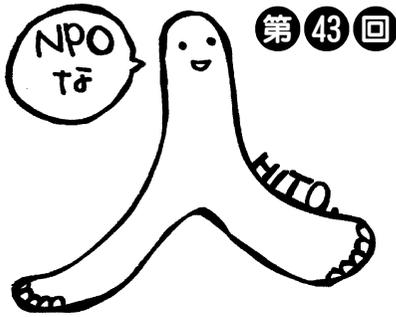
プロとしてご活躍で札幌市在住の
阿部夕希子さんにご提供いただきました。

表紙のイラスト
募集中

OB・OGコラム
NPOな人

ベンチレーター使用者ネットワーク代表 佐藤きみよさん
泣いた！笑った！バンブーラデシユの人々と…

北海道のNPO法人認証数
1,602 法人
(2010年7月末現在)



.....

NPO 活動をしている人をどのくらいご存じですか？
どんな人が、どのような経緯で始めたり、関わるようになったのでしょうか。
北海道の多くの市民活動家の中から、まさに「NPO な人」として紹介したい方に、これまでのエピソードを教えてくださいました。

.....



著 者 ベンチレーター使用者ネットワーク代表
佐藤 きみよ (さとう きみよ)

1962 年札幌生まれ。進行性筋委縮症で、12 歳の時からベンチレーター（呼吸器）を 24 時間使用する。90 年に施設を出て、自立生活を開始。NPO 法人自立生活センターさっぽろ理事長も務める。

呼吸器を持って、病院を飛び出した

呼吸器を 24 時間付けながら地域で暮らして、20 年を迎える。「3 日でいいから」「死んでもいいから」と私は 20 代の時に病院を飛び出した。当時は、呼吸器を付けて在宅で生活している人はなく、呼吸器を病院の外へ持ち出すなど考えもつかない時代だった。まるで、人々が宇宙には決して行けはしないと思っていたように。

地域で暮らし始めた私は、障がい者が社会の中で生きてゆくための福祉の貧しさがく然とし、サバイバルな毎日を送ることになった。24 時間の介助が必要なので、毎日のようにボランティア探しに追われ、疲労で体調を崩し、ずいぶん障がいが増進した。車イスに座っていられなくなったのは、この頃だ。

そんな日々の中で、なんとか光を見つけないかと思い、私は通信「アナザボイス」を発行した。今では全国の当事者、福祉医療関係者、支援して下さる方々など 1 千人近くに読まれているが、第一号を出した時は、わずか 30 通を親しい人に送っただけだった。でも、社会という海に石を投げれば、どんな小さな石でも波紋を広げられるし、その石は社会を変える意味を持つと信じていた。

アナザボイスを発行してしばらく経った頃、私は新潟の国立療養所に入所している 30 代の男性 H さんから手紙をいただいた。彼も呼吸器を付けながら自立を目指している「仲間」だった。私が初めて出逢った、呼吸器を付けた友人。真っ暗な闇の中に小さな光を見つけたかのように、私の心は喜びで満たされた。それから私たちはよく手紙をやりとりした。彼の好きなピンク色の便せんに書かれている細く優しい文字が懐かしい。手紙には「私たち重度障がい者に必要なのは、管理されることではなく、自立ができる社会だ」とあった。いつも週末の外泊を楽しみにし、恋人との時間を大切にしながら自立を夢見ていた H さん。彼が亡くなって、もう 15 年は経つ。彼は今でも心の支えだ。



斜里町のオシンコシンの滝を観光

障がいを個性に

私が今は子育てをしていることをもし彼に伝えることができたなら、彼はどんなに驚くだろう。どんなに祝福をしてくれたらだろう。7年前、私はフィリピンから1歳にもならない小さな女の子を引き取った。手も足も動かない24時間介助の必要な私が子育てをするなんて。

8歳になった娘は、寝台型の電動車イスに乗った私と外出すると、よくこんなことをつぶやく。「ママは歩けなくていいなあ、車イスに乗っていいなあ」と。だんだん疲れてくると、平気で動き続ける私にそう言うのだ。赤ちゃんの時は、よく車イスに乗せて歩いたけれど、今それをするには娘はあまりに大きくなった。心底うらやましげに私の顔をのぞくので、私はついプツと噴きだして笑ってしまう。「いいでしょう。うらやましい？」と言ってみたくなる。生まれた時から障がいを持って生きてきた私は、「かわいそう」や「気のどく」と言われることはあっても、歩けないことをうらやましがられることなどなかった。障がいを「個性」と言ってきた私にとって、娘の言葉は何より嬉しい最高の贈り物だ。

病院内でしか購入できなかった呼吸器だが、今は病院を通してリースで貸し出されるようになり、私のような障がい者の自立生活への道は大きく開かれた。私が地域で暮らすなどは、誰も想像がつかない話であったのはついこの間のように感じるが、今では同じような立場の仲間たちが、少しずつ、外の世界で暮らし始めている。

私は、90年に「どんなに障がいが重くても、地域の中で当たり前のように生きられる社会を!」と願い、呼吸器を付けた人たちの会「ベンチレーター使用者ネットワーク」を立ち上げた。障がい者が地域で暮らすことの運動にこだわり続け、車イスの仲間と24時間の介助保障を求め市長室で座り込みしたり、ホテルやデパートのバリアフリー化を求めて何度も話し合いを重ねたりしてきた。「呼吸器はいたずらに怖がったり不安にさせる機械じゃない。人生を豊かに生きるための生活の道具であり、パートナーなのだ」と、ずっと言い続けてきた私の言葉に、ようやく少しずつ、人々の理解が深まってきたと感じる。

私が歩いてきた道を、Hさんは空から見ていてくれたらどうか。「まだまだ100点じゃないけれど、よくここまでやったね」と褒めてくれるだろうか。私は、Hさんにもう一度約束したい。障がいを「個性」と受け止められる社会を作るため、どんな命も生まれてきてよかったと言える社会を作るため、私はこれからも前を見つめて歩いていくと。



韓国の仲間を迎えて

■■ ベンチレーター使用者ネットワーク ■■■■

Eメール info@jvun.org TEL・FAX: 011-867-5699
〒003-0022 札幌市白石区南郷通 14丁目南 2-2 ニュー南郷サンハイツ 1階
NPO 法人自立生活センターさっぽろ内
ホームページ <http://www.jvun.org>

■■ NPO 法人自立生活センターさっぽろ ■■■■

Eメール cils@jvun.org
ホームページ <http://www.jvun.org/cils/>



ボラナビカフェに参加しませんか？

ボラナビカフェは誰でも参加できるおしゃべりの場です。みんなが順に話し、いろいろな思いや話題を共有していきます。これまで以上に多くの方に参加していただくため、2011年3月までは毎月5回程度開催します。

10月	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
	3	4	5	6	7	8	⑨
	10	11	12	13	14	15	▽16
	17	18	⑒19	20	◇21	22	▽23
24/31	25	26	27	28	29	30	▽30

11月	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	◇6
	7	8	9	10	11	12	⑒13
	14	15	16	17	18	19	▽20
	21	22	23	⑒24	25	26	▽27
	28	29	30				

- ◎ 場所／ボラナビ事務所（札幌市中央区北5条西6丁目2札通ビル7階）参加費は300円です。月寒あんばん本舗ほんま様から提供していただくお菓子を食べながら、みんなで話しましょう。
- ◇ 場所／cafe 亜麻人（あまんと）（札幌市北区麻生町6丁目14-6高橋ビル2階）参加費無料。飲食物は出ませんが、250円で飲み物を注文できます。会場ビル裏手に有料駐車場（100円/時）あり。託児が必要な方も参加できます（保育士2人）。託児無料。お子様のお名前、性別、生年月、障がいの有無をあわせてお知らせください。お子様のオムツや飲み物などは各自で用意ください。
- ▽ 場所／ボラナビ事務所（札幌市中央区北5条西6丁目2札通ビル7階）参加費無料。みんなで話しましょう。
- 場所／向日葵（ひまわり）食堂（札幌市中央区北5条西6丁目2札通ビル6階）参加費無料。飲食物は出ませんが、コーヒー200円を注文できます。
※ボラナビと食堂は「札幌駅」からすぐ、亜麻人は地下鉄南北線「麻生駅」とJR「新琴似駅」からすぐ。

時間 / 10:00 ~ 11:30

申込締切 / 各開催日の一週間前。定員 10人（最少催行人数 4人）

お問合せ・お申込み / NPO 法人ボラナビ倶楽部 Eメール volunavi@npohokkaido.jp
TEL:011-242-2042 FAX:011-242-2043

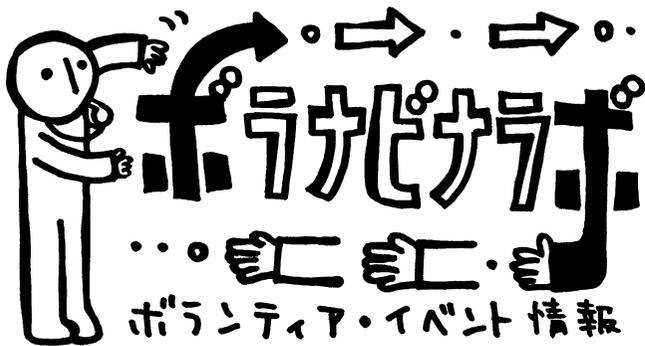
スケジュールやこれまでのカフェの様子は、ホームページにも掲載しています。（「ボラナビカフェ」で検索）

《カフェレポ》

8月14日（土）のカフェには8人が参加しました。ヘルパーの資格取得のための研修は楽しかった、楽しめることでお金をもらっていいのだろうか、という人に、「構わない」、「介護は深い、ぜひ現場で働いてみて」、「個人の価値観だから自分が決めること」という意見が出たほか、「実際は、予期できないことや失敗がある」と、現場の事例を話してくれた方がいました。また、ご自身がホームレスだったという参加者は、ボラナビが縁で、今はある団体で自立を目指して活動しているそうで、思いや直面した困難を話してくれました。他の参加者からは、「北海道は冬が寒いので、ホームレスはいないと思っていた。話が聞けてよかった」という感想が出ていました。（村上 智恵子）



独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業



情報をお待ちしています

ホームページの入稿フォームをご利用ください。

- ボラナビ <http://www.npohokkaido.jp/volunavi/>
- ※インターネット環境が無い方は、FAXや郵便でお送りください。

締切は毎月25日。次回は10月25日締切で12月号掲載です。

掲載情報のご利用にあたり

- 情報の詳細は各団体にお問い合わせください。
- 活動で生じた問題につきましては、当事者間で解決を図られるようお願いいたします。また、万が一の事故やケガにそなえてボランティア保険への加入を推奨します。
- 思いやりをもって活動しましょう。

10/26

チャリティーバザーのボランティア募集

札幌YWCAでは、「秋のチャリティーバザー」の準備期間や当日に協力して下さるボランティアを募集しています。また、ご家庭にある調味料や乾物、缶詰など保存期間の長い食料品、新品のいただき物、手作り品などのご提供もお願いします。収益は、イラクの子どもたち、養護施設「富良野国の子寮」の子どもたち、パレスチナなどの紛争下で暮らす子どもや女性たちへの支援と、札幌YWCAの福祉・青少年活動に充てられます。当日は、寄贈品や中古衣料、手作り手芸品などを販売する予定です。喫茶コーナーでは軽食もご用意しています。本屋さん、パン屋さん、雑貨屋さんなどの出店もあります！ご家族、お友達とぜひいらしてください。

- 日時／準備期間は10月26日(火)～29日(金) 10:30～16:00。開催は10月30日(土) 11:00～14:00。ボランティアは、この間のご都合の良い日時をお願いします。事前にご連絡ください。なお、バザー品の受付は10月25日(月)～29日(金)です。
- 場所／北海道クリスチャンセンター2階大ホール(札幌市北区北7条西6丁目)
- 交通機関／地下鉄南北線「さっぽろ駅」またはJR「札幌駅」<北口>より徒歩5分
- お問合せ／札幌YWCA バザー実行委員会 <担当:南條>
Eメール sapporo@ywca.or.jp TEL・FAX:011-728-8090(留守電の場合はメッセージを残してください)
ホームページ <http://www.ywca.or.jp/~ywca0037/>

さぼーとほっと基金 助成事業を募集中

市民のみなさんの寄付でまちづくり活動を応援する「さぼーとほっと基金」からお知らせです。今回は2つの冠基金から募集をします。たくさんのご応募、お待ちしております！

○CGC こども基金 (募集総額 200万円)

子育て支援活動(1事業につき10～50万円の間で助成します)

○特殊衣料 abonet (アボネット) 基金 (募集総額 50万円)

「生き生きとした冬の生活を楽しむためのまちづくり活動」

(1事業につき10～20万円の間で助成します)

- ・助成対象経費の2分の1までを助成します。
- ・平成22年12月1日(水)から平成23年3月末までに終了する事業が対象です。
- ・提出期限は平成22年10月20日(水)必着。

詳細についてはこちらまで～

札幌市 市民まちづくり局 市民自治推進室 市民活動促進担当

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 市役所13階

TEL:011-211-2964 FAX:011-218-5156

E-mail shimin-support@city.sapporo.jp

HP <http://www.city.sapporo.jp/shimin/support/kikin/>

随時

書道、俳句、手芸などを教えていただけませんか

「デイサービス北大通り（ほくだいどおり）」では、書道、俳句、手芸、絵手紙、楽器演奏など、趣味活動の講師を務めてくださる方を探しています。5～8人前後の小グループで指導していただく予定です。みなさんの趣味や特技を活かし、楽しみながら参加しませんか。お気軽にお問い合わせください。

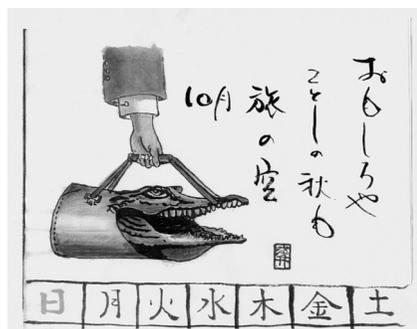


- 日時／月～土曜日 14：00～15：00
- 場所／札幌市北区北23条西4丁目2-23
- 交通機関／地下鉄南北線「北24条駅」より徒歩3分
- その他／交通費をお支払いします。
- お問合せ／医療法人社団誠仁会 デイサービスセンター北大通り〈担当：笹村〉
Eメール place24@seijinkai-n.com TEL：011-738-1111（代）

随時

介護施設の趣味活動をお手伝いするボランティア募集

私は介護施設をまわって、墨彩画（墨と絵の具を使って描いた絵）と、ぬり絵、絵手紙を合わせたカレンダーやカード作りの趣味活動を教えています。利用者さんには、見本を見ながら、私が描いた下絵に色を塗ってもらいます。月に2、3回開催する施設もあり、全施設で300人が楽しみに待っていてくれます。私一人では、大勢の利用者さんに教えるのは大変なので、資料の配布や対応のお手伝いをしてくれるボランティアを募集しています。月に2回、教材費のみで墨彩画の研修会を行っていますので、絵を描いた経験のない方でも安心して、ボランティアとして参加できます。ご連絡をお待ちしております。



- お問合せ／浅井 TEL・FAX：011-881-9316

10/15 締

公園あそびのボランティア募集

私たちは、公園の活用や子どもの健全育成のために「公園あそびの会」を開催しています。お手伝いをしてくださるボランティアスタッフを募集します。

- 日時／10月17日(日) 10：00～16：00。事前の説明、昼食、片付け、反省会の時間を含む。
- 場所／美香保公園（札幌市東区北20条東4丁目）
- お問合せ／NPO法人公園ねっとわーく〈担当：中村〉 Eメール kouen_net_com@yahoo.co.jp
携帯：090-8630-7737 ホームページ <http://www2.odn.ne.jp/kouen-network/>

陶芸やパソコン教室に参加する障がい者と、見守りボランティアの募集

障がいのある方は、私たちの事業所が開催する陶芸やパソコン、クッキング教室などに参加してみませんか。障がい者手帳をお持ちの方は、基本的に無料で参加できます。就労や自立した生活を目指す訓練なども行っています。お気軽にお問い合わせください。その他、利用者さんの見守りなどをしてくださるボランティアさんも募集しています。見学などでだけでも結構です。

- 日時／月～金曜日 10：00～17：00
- 教室の日時／陶芸教室 隔週金曜日 13：00～15：00
パソコン教室 随時（御希望がある時に開催）
調理教室 毎週木曜日 13：00～15：00
- 交通機関／地下鉄東西線「西28丁目駅」または「二十四軒駅」より徒歩10分
- その他／ボランティアさんには、登録をお願いし、交通費として上限5,000円（ひと月単位）をお支払いします。

お問合せ NPO法人青眼（せいがん）就労支援センター西作業所〈担当：高尾〉 札幌市中央区宮の森3条1丁目4-11
Eメール info@sei-gan.org TEL・FAX 011-777-2677 携帯 090-2875-7683 ホームページ <http://www.sei-gan.org>

10/18
締

「聞き合う講座」の当日ボランティア募集

聞き合いサポートネットワークは、聞き合うことでつながり、助け合うことを目的に、「聞き合う講座」を毎年開催しています。これは、受講者同士が時間を対等に分け合って、交代で話し、聞くという、対等性を大切にしたユニークな方法で行います。温かく見守られながら自分の気持ちを表現することにより、受講者は本来の自分を取り戻し、自身を肯定して誇りを持つことができます。講座で、受付や会場設営をしてくださるボランティアを募集しますので、締切日までにぜひご応募ください。



- 日時／10月31日(日) 13:00~16:00
- 場所／エルプラザ研修室3(札幌市北区北8西3)
- 交通機関／JR「札幌駅」〈北口〉より徒歩5分
- その他／10月3日(日)の同時にも、エルプラザ研修室1で同講座を開催します。31日と共に、参加者を募集しています。参加費1,000円。3日の講座は当日参加が可能ですが、31日のはボランティア募集と同日の締切日までに申し込みしてください。私たちの活動については、ブログをご参照ください。
- お問合せ／聞き合いサポートネットワーク〈担当：松橋〉
Eメール kazuko-m1969@nifty.com
TEL：011-695-2477
ブログ <http://blog.goo.ne.jp/kikiai-support>

参加無料 **予約不要**
入退場自由

募集!
10/1~11/8

世界も自分も変わるシゴキ

青年海外協力隊
シニア海外ボランティア

各で行われる募集説明会まで、お越しください。 **体験談&説明会**

青年海外協力隊(20~39歳)	
日時	会場
9月26日(日)15:00~17:00	アスティ45ビル4階アスティホール
10月5日(火)18:30~20:30	アスティ45ビル4階アスティホール
10月9日(土)14:00~16:00	函館市地域交流まちづくりセンター
10月16日(土)14:30~16:30	藤田観光ワシントンホテル旭川
10月18日(月)18:30~20:30	アスティ45ビル4階アスティホール

シニア海外ボランティア(40~69歳)	
日時	会場
9月26日(日)10:30~12:30	アスティ45ビル4階アスティホール
10月6日(水)18:30~20:30	アスティ45ビル4階アスティホール
10月9日(土)10:00~12:00	函館市地域交流まちづくりセンター
10月16日(土)10:30~12:30	藤田観光ワシントンホテル旭川
10月19日(火)18:30~20:30	アスティ45ビル4階アスティホール

独立行政法人
国際協力機構
札幌国際センター(JICA札幌)

〒003-0026
北海道札幌市白石区本通16丁目南4-25

資料請求・個別相談随時受付中

TEL 011-866-8393
◎FAX 011-866-8382 ◎E-mail sictpp@jica.go.jp
担当/田中・大橋・仲沢

JICAボランティア

ハンド・フットケア初心者用基礎講座教室

癒しと
ぬくもりの
ケア

オイルを使って、温めた手で利用者の手足をさすり、なでてあげる優しい手技です。
※社会福祉施設に勤務する看護師を対象に講義経験有。
平成21年度北海道社会福祉協議会主催。

日時／毎月第2・第4土曜日 13:00~15:00(2時間/回 5回)
会場／札幌市中央区南2条西6丁目 狸小路プラザハウス2階
受講料／35,000円(教材・修了証書代含む)

NPO法人 日本ヒーリングケア協会・ヒーリングケアスクール札幌 代表：男沢(おざわ)千恵子
TEL：011-824-3848 FAX：011-824-3844 ホームページ <http://www.healing-care.jp>

随時

ふれあいサロンのボランティア募集

今年開設したふれあい交流サロン「お茶しましょ」では、ボランティアスタッフを募集しています。お願いしたいのは、参加者の話し相手、お茶出し、会場作り、司会進行、行事の企画や調整、買物、物品の運搬、写真やビデオの撮影、パソコンで文書づくり、趣味やレクリエーション（体操・音楽・手芸・芸事・料理・ものづくりなど）の手ほどきや披露、などです。年齢や性別にこだわらずに交流できる人なら、学生からシニア世代まで、どなたでも歓迎します。高齢者と地域を繋ぐ大切な役割を担いながら、ご自身も趣味や特技を活かしてより一層元気に輝いてみませんか？



- 日時／月～土曜日 9：00～17：00 の中で、月 1 回、2 時間程度の気軽なお手伝いから始められます。
- 場所／札幌市中央区南 20 条西 6 丁目 6-5 ウェルネス中島 1 階
- 交通機関／地下鉄南北線「幌平橋駅」より徒歩 10 分
- その他／交通費として 1 日上限 500 円まで支給
- お問合せ／ふれあい交流サロン「お茶しましょ」〈担当：小番（こつがい）〉
TEL・FAX：011-511-1159
携帯：090-3456-3333



～NPOのちょっとした疑問にお答えします。～

Q 役員の一人が遠隔地に引越して、理事会等に参加する際には、航空運賃と宿泊費を支給することになりました。この旅費を支払う際に、源泉所得税を控除しなければならないのでしょうか？

- **A** 出勤や理事会等の参加に必要な運賃や宿泊料などの支出に充てるものとして支給される金品で、社会通念上合理的な理由があると認められる場合に支給されるものについては、その支給される金品のうちその出勤や理事会等の参加のために直接必要であると認められる部分に限り、旅費に準じて処理して問題ないでしょう。よって、その支出額が実費相当額であれば、個人の給与にも該当しなく源泉所得税も控除する必要はないでしょう。ただ、その場合にも、旅費規程などは団体内部で整備しておくことをお勧めします。
- 瀧谷和隆（瀧谷和隆税理士事務所 apitakiya@aol.com）

Japan Press Network

47 CLUB

北海道新聞をはじめとする、地域の新聞社が運営するショッピングサイト「よんななくらぶ」では、日本各地の逸品・特産品をお届けしています。

よんななくらぶ **検索**

登録無料 欲しい情報がお手元に

ボラナビ・アラート

活動したい地域・分野・時間帯を選んで登録。ご希望にあった最新のボランティア・イベント情報をお届け！
携帯からも簡単登録→

<http://npohokkaido.jp/volunavi/modules/vsearch/index.php?controller=user>

随時

発達に障がいのある子どもの成長を支援するボランティア

「児童デイサービス コンチェルト」は、自閉症などで発達に障がいのある幼児や児童に、小グループでの楽しい遊びを通して、社会性やコミュニケーション能力が伸びるような支援をしています。私たちと一緒に活動してくださる方を募集します。

- 時間／幼児クラス（月～金曜日 10：00～12：00）、児童クラス（月～金曜日 15：00～17：00、土曜日 10：00～12：00）のうち可能な時間
- 場所／児童デイサービス コンチェルト（札幌市北区北 23 条西 5 丁目 2-31 J ビル 2 階）
- 交通機関／地下鉄南北線「北 24 条駅」より徒歩 3 分。札幌サンプラザ向かい。
- お問合せ／NPO 法人発達支援サポーターズコンチェルト 「児童デイサービス コンチェルト」〈担当：菊池〉
Eメール concerto@samba.ocn.ne.jp TEL：011-788-6026 ホームページ <http://www4.ocn.ne.jp/~concerto/>

随時

不登校の子どもたちのサポート

こども教育支援財団が運営する「元気の泉」札幌分室は、不登校の小・中学生のための学校復帰支援の場です。子どもたちのお兄さん、お姉さんとなって学習のサポートをしたり、お話し相手になってくれる大学生・大学院生を募集しています。一人でも多くの子どもたちが笑顔になり、学校や社会に復帰できるようなサポートを一緒にしていきませんか。まずはお問い合わせください。

- 日時／月・火・木・金曜日 9：00～17：00
- 場所／「元気の泉」札幌分室（札幌市白石区本通 3 丁目北 7-17）
- 交通機関／JR「白石駅」より徒歩 8 分。「本通 5 丁目」停留所もしくは「本通 2 丁目」停留所より徒歩 5 分。「本通北 3 丁目」停留所より徒歩 1 分。
- その他／交通費をお支払いします。
- お問合せ／財団法人こども教育支援財団 「元気の泉」札幌分室 〈担当：山田〉
Eメール m.yamada@kodomo-zaidan.net TEL：011-867-6218 FAX：011-867-6217
ホームページ <http://www.kodomo-zaidan.net/>



平成22年度
NGO相談員

北海道のNPO・NGOの 相談業務承ります！

(財)北海道国際交流センター（HIF）は道南を中心にホームステイ、国際交流や地球環境、NPO・NGOサポートなどの活動をしている団体です。2010年度の外務省NGO相談員です。北海道全域の相談業務に対応するため、HIF札幌デスクを開設しています。よりきめ細かい相談や出張サービス（いずれも無料）を承ります。

詳しくは、
札幌デスク NPO法人ボラナビ倶楽部 または
(財)北海道国際交流センター（HIF）
までお問い合わせください。
TEL：0138-22-0770 FAX：0138-22-0660
Eメール info@hif.or.jp
ホームページ <http://www.hif.or.jp>



短期**日常生活支援のお願い**

息子と2人暮らしの50代の女性です。9月に肩の手術をするので、その後は日常生活に不自由しそうです。そこで、息子が学校に行っている日中の食事づくり（朝・昼・夕）や掃除、洗濯などをお手伝いしていただけないでしょうか。女性の方をお願いします。

- 日時／術後ひと月間程は、毎日日中に、どなたかにはお越しいただきたいと思っています。9月末から10月にかけて、ご都合の付く日時をお知らせください。
- 場所／札幌市北区新琴似7条10丁目（詳細は電話で説明します）
- 交通機関／中央バス「新琴似8条9丁目」停留所下車
- その他／謝礼などはお支払いできません。
- お問合せ／日下（くさか） 携帯：080-5596-1125

**10/10
締****空気のオブジェで子どもたちと遊ぶイベントのボランティア募集**

「遊ぼう！つなごう！空気のオブジェ！『シーバルク札幌2010』』というイベントを準備から手伝っていただけませんか。シーバルクとは、農業用の大きなビニールシートを張り合わせ、風船のように膨らませて作る「空気のオブジェ」です。大きなものでは縦・横・高さが8×12×3(m)にもなり、大人でも中に入って遊べます。いろいろな形をつなぐと、大きな風船の迷路のようになります。23日に、シーバルク制作と組み立ての他、遊び方の研修を受け、24日が本番で、来場する子どもたちと一緒に遊び、終了後に片付けをしていただけませんか。高校生以上で、できるだけ両日とも参加できる方30人をお願いします。



- 日時／10月23日(土) 14:00~17:00、24日(日) 10:00~17:00。子どもたちを対象にしたシーバルクの一般公開は、24日(日) 11:00~15:00。
- 場所／アウ・クル（旧豊水小学校）体育館（札幌市中央区南8条西2丁目）
- その他／FAXまたはメールで締切日までにお申し込みください。メール件名には「シーバルクボランティア」とお書きください。定員になり次第、受け付けを終了します。交通費や謝礼はお支払いできません。
- お問合せ・お申込み／NPO法人チャイルドラインさっぽろ事務局 シーバルク実行委員会〈担当：中島・山本・伊藤〉 Eメール chairud@gray.plala.or.jp TEL・FAX：011-272-3755（電話は月・水曜日12:00~16:00）



～NPOのちよつとした疑問にお答えします。～

Q 現在、NPO法人を運営しておりますが、新たな理事の選任に関し、近々、臨時の社員総会を開催することになりました。社員総会の当日は、どのような流れで議事を進めることになりますか。

- **A** 社員総会当日、まずは、出席社員の数を確認し、臨時社員総会開催のための定足数を満たしているかを確認します。定足数が満たされていなければ、いかなる内容の決議をしようとするかその決議の効力は否定されてしまいますので、定足数充足の確認は極めて重要です（なお、定足数については、あなたの会社の定款を確認して下さい）。そのうえで、①開会②議長の選任③新たな理事選任に関する議案についての審議④採決⑤閉会⑥社員総会議事録への署名、というのが、一般的な議事進行の流れです。
- 下矢洋貴 弁護士(佐々木総合法律事務所 TEL:011-261-8455)

10/21
締

世界連邦日本大会運営ボランティア募集

世界連邦推進日本協議会は、地球規模の問題を扱う一つの民主的な政府をつくり、世界の人々が世界の恒久平和を築くために、人間として、地球市民として、国境を越えて、お互いに連帯しようという平和運動を展開しています。この度、「世界連邦日本大会 in 札幌 2010」を開催することになりました。大会長の海部俊樹氏（元内閣総理大臣）と世界連邦運動協会副会長の日下部禧代子（くさかべきよこ）氏（元文部政務次官）や、基調講演者としてカナダから太田雄三氏らを迎え、恒久平和を築くための日本の役割を考えます。当日の会場整理などをお手伝いして下さる運営ボランティア・スタッフを募集しますので、ぜひ協力してください！

- 日時／10月22日(金)。大会は13:00～16:40、レセプション(ゲスト歓迎会)は17:00～19:00。
- 場所／札幌サンプラザ・コンサートホール(札幌市北区北24条西5丁目)
- 交通機関／地下鉄南北線「北24条駅」〈1番出口〉より徒歩3分
- その他／締切日までにお申し込みください。交通費として1,000円をお支払いします。また、ボランティアではなく、観客としてお越し下さる方も歓迎します。申し込み不要で、大会参加費1,000円です。
- お問合せ／世界連邦・北海道 Eメール wfmhokkaido@xene.net TEL・FAX: 011-231-6177
携帯: 080-1877-3736 札幌市中央区南2条西10丁目5-1 ホームページ <http://wfmhokkaido.com/>

月・木
他

知的障がい児の水泳補助ボランティア

知的障がいのある子どもたちに、水泳教室でマンツーマンで指導するインストラクターの補助ボランティアを募集しています。水泳の経験者でしたら指導の経験は問いません。事前の見学や体験も可能です。活動を始める前にはトレーニングも行います。年間を通じて活動できる方を探しています。

- 日時・対象／月・木曜日(15:30～17:40)は4歳～小学生対象。土曜日(15:00～17:30)は中・高生対象。
※ボランティアリーダーの会合が月1回あります。
- 場所／YMCA プール(札幌市中央区南11条西11丁目)
- その他／水着を支給します。
- お問合せ／YMCA ボランティアセンター Eメール volunteercenter@hokkaido-ymca.or.jp TEL: 011-561-5217
FAX: 011-563-0041 ホームページ <http://www.hokkaido-ymca.or.jp>

登録ヘルパー募集

興味のある方 ぜひお気軽にご応募ください♪

急募

■資格／ホームヘルパー2級以上、未経験者大歓迎 35歳以上
夜間は年齢不問
運転免許必須 南区在住の方(周辺の方も応相談)

■勤務時間／応相談 昼間、深夜相談可

■給 与／時給930円(交通費400円。深夜手当などの諸手当あり)

■勤務場所／南区とその周辺

■応募方法／履歴書を当事業所まで郵送するか、右記までご連絡下さい。

NPO法人せせらぎ
ヘルパーステーションせせらぎ

〒005-0804
札幌市南区川沿4条3丁目4-9 フラワーハイム102号
TEL: (011)572-7810 FAX: (011)572-7840

知的障がい者の軽作業班を新設！ 通所者募集

音幸舎(おんこうしゃ)は知的障がい者のための就労継続支援B型の団体です。このたび、軽作業班を新設するにあたり、通所者を5人程度募集します。知的障がい者手帳をお持ちのA等級の方でもできる作業を考えておりますので、通所を希望される方はお問い合わせください。定員に達し次第、締め切ります。

- 活動時間 月～金曜日 9:00～16:00
- 交通機関 地下鉄東西線「宮の沢駅」より、JRバス手稲駅行きで「西宮の沢4条3丁目」下車、徒歩5分程度
- 作業内容 主に、電気製品(リサイクル家電を除く)の解体・分別
NPO法人音幸舎(担当: 櫻井) Eメール saku@jaico.biz
TEL: 011-667-8453 携帯: 090-3468-3365 FAX: 011-664-1641
〒006-0003 札幌市手稲区西宮の沢3条2丁目5番23号

ミニフォーメーション mini-information "minformation"

10/1(金) ▶ エイズや戦争によって親を失ったウガンダの子どもたちによるコンサート

▶ 19:00~(18:30開場) 札幌市教育文化会館大ホール(札幌市中央区北1西13)
エイズや戦争によって親を失ったアフリカ・ウガンダの子どもたち「ワトト・チルドレンズ・クワイア」が、「希望のコンサート」を北海道で初めて開催します。彼らは、6~14歳の孤児たちによるアフリカン・ゴスペルのコーラスグループで、アフリカンダンスやリズムとともに、透明感あふれる美しい歌声を聴かせてくれます。チケットは、大人前売1,500円、当日1,800円。小学生以下は前売1,000円、当日1,300円。未就学児は膝上鑑賞なら無料ですが、座席を必要とする場合は有料。手話通訳あり。ローソンチケット(Lコード:13209)

☎ワトト札幌コンサート実行委員会<益田・岩寺> Eメール sapporo@watoto.jp
TEL:011-683-5523(グレースコミュニティ内)

10/2(土) ▶ 性同一性障害札幌講演会

▶ 講演 13:30~15:30(受付 13:00~) かでる 2.7 720 研修室(札幌市中央区北2西7)
COMらっどでは、今まで、性別適合手術(性転換手術)をしたトランスセクシャル(身体とところの性の不一致により手術を望む方)をお招きして、性同一性障害に関する一般市民の理解促進に努めて参りました。今回は、トランスジェンダー(性の不一致を感じているが、手術までは望まない方)である真木柗鷹(まさき まさたか)氏をお招きして、トランスジェンダーや東北・関東で活動している「性と人権ネットワーク ESTO」について講演していただきます。参加費500円。☎COMらっど<工藤> Eメール comrade.e@hotmail.co.jp

携帯:090-5958-3491(平日は18時以降) ホームページ <http://happytown.orahoo.com/comrade/>

10/7・14(木) ▶ 一般公開講座「ステップアップセミナー」

▶ 両日とも 10:00~12:00. 札幌エルプラザ4階中研修室(札幌市中央区北8西3)
10/7のテーマは「人生をよりよく生きる生活術」~心身を健やかに・自分らしく~で、講師は、メンタルヘルス・カウンセラーの根本和雄氏。自分らしく健康で幸せに生きるために、人生の真の味わいと、希望を与えてくれる知恵を学びます。10/14のテーマは「遺言・任意後見一老後と家族の安心のために」~公証役場を上手に活用しよう~で、講師は、大通公証役場公証人の石田敏明氏(元札幌家庭裁判所長)。家族やシニアの安心のために、遺言書の作成、任意後見制度などについて専門家から学びます。受講料は2回合わせて1,000円。定員50人。

☎NPO法人北海道マリッジ・カウンセリングセンター TEL:011-251-5033(10:00~16:30.火曜日・祝日・第5日曜日は休み)。

10/9~11 ▶ アースファミリーキャンプ 2010

▶ 9日(土) 10:00~11日(月・祝)15:00の2泊3日 当別町道民の森神居尻地区(現地集合・解散)
恵み豊かな秋の森の中で、家族で過ごすプログラムです。色づいた木の上まで登って見る森の景色はたえようがありません。キノコを採ったり、ヤマブドウでジャムを作ったりしませんか。小学生とその保護者対象。先着40人(定員になり次第締め切ります)。参加費大人7,000円、子ども5,000円。お申し込みはEメール、FAX、お電話にて。折り返し、詳細をご連絡いたします。

☎NPO法人当別エコロジカルコミュニティー Eメール tectec_ee@ybb.ne.jp TEL:0133-22-4305
FAX:0133-22-2263 ホームページ http://www.geocities.jp/tectec_ee

10/15(金) ▶ 札幌市里親促進フォーラム

▶ 10:30~15:30 札幌市教育文化会館4階講堂(札幌市中央区北1西13)
テーマは「健やかな安らぎを子どもらに」で、午前は「『家族』をつくる一養育里親という生き方」著者の村田和木氏による講演「里親制度の現状~子どもにとって里親制度はどう変わっていくべきか~」、午後は里親や元里子の体験発表と意見交換で、札幌市児童相談所職員と札幌市里親会会長が、コーディネーターと助言者を務めます。参加無料、申し込み不要。無料託児可能。弁当を販売しますが、数に限りあり。

☎札幌市里親会<田中> Eメール satooyakai05@mountain.ocn.ne.jp TEL:011-622-8630 FAX:011-622-8701

10/19(火) ▶ 思春期の子を持つ親の集い

▶ 講演会 13:30~15:20(開場 13:00~)、交流会 15:40~17:20
かでる 2.7 4階大会議室(札幌市中央区北2西7)
「ひきこもり、リストカット(※手首を切る自傷行為)、インターネットなど思春期・青年期の子どもたちの行動について考える~親はこれらの行動を、どう理解しどのように関わるか~」。講師は北海道医療大学心理科学部非常勤講師金田迪代氏。また、同じ悩みや気持ちを持つ方たちで語り合う交流会も開催します。当日参加も可能ですが、なるべく10月15日までにお申し込みください。無料。

☎社団法人北海道家庭生活総合カウンセリングセンター TEL:011-251-6408(対応は10:00~17:00)
FAX:011-271-5068

OB・OG 青年海外協力隊

「海外でボランティアをする」—— 夢見たことはあるけれど、実現していない人は多いのではないのでしょうか。もしかしたらあなたが行くかも、あるいは行ったかもしれないその土地の様子を、青年海外協力隊 OB・OG の方々に教えていただきます。

第42回

泣いた! 笑った! バングラデシュの人々と…

庄子明大(しょうじ あきひろ)さん(34歳)2008年3月より2年間、バングラデシュ人民共和国でITのスキル指標や資格試験の導入に向けた政策提言を行った。現在、求職活動中。



職場で生徒たちと(筆者前列中央)

バングラデシュはインドの東隣にあり、北海道の1.7倍の広さに、道民の30倍近い1億6千万人程がぎっしり密集して住んでいます。私はそこで、コンピュータ技術職隊員として「IT(情報技術)を使いこなす人を育てる」活動をしてきました。具体的には、国はグローバルレベルにのっとった明確な基準を持って人材育成をすべきと提言し、ITの資格試験やスキル指標を導入しようとするものです。ただ、バングラデシュ政府の高官は忙しく、新たな仕事を抱えたくないため、あまり興味を示してくれませんでした。

それでも粘り強く訴えていると、ある時、日本の政府機関関係者が「早く成果を出すために、民間と話しては?」と、バングラデシュのソフトウェア有力関連企業団体との会合をセッティングしてくれました。居並ぶ幹部陣と日本側関係者各10人の前で、私はIT人材育成について現地語で話をすることになりました。

しかし、真面目に熱く話しているのに、彼らは私を指差してヒソヒソ話しながら笑っています。日本側の関係者は、皆が現地語を理解するわけではないので、訳がわからず戸惑っています。私も困って、「なぜ笑っているのですか?」と聞きました。

すると、そのトップがこらえきれなくなったように大声で笑い出し、「ごめんごめん。君、ポリシャル地方に住んでるでしょ?」と。すると他の幹部も、こぞって「すごくなまってるよ～。方言うまいねえ～」と大笑い。どうやら、日本人が現地語で話すのも珍しいのに、さらに地方なまりだったのがおかしくてたまらなかったよう

です。私の住んでいた南部のポリシャル地方は、日本で言うと東北地方のように、なまりがきつい地域。山形弁を話すダニエル・カールと同じで、方言丸出しでしゃべる外国人が面白かったのです。それがすっかり場を和ませ、リラックスした雰囲気活発な議論が展開されることとなり、この団体には、その後も省庁への働きかけなどで多大な協力を得られました。

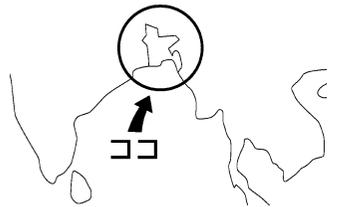
海外では英語で活躍する方が多い中、青年海外協力隊員のほとんどは現地語を学び、日常で使用しています。これが地元の方々との距離をグッと縮めるきっかけとなること間違いなしです。その地の言語や文化を尊重し、そこに溶け込もうとすることが、草の根レベルの交流には欠かせないと実感した体験でした。



電車の上の人たち

豆知識

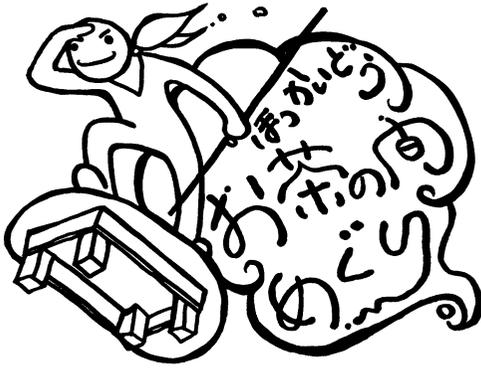
イスラム教徒が9割を占めるこの国では、女性は身体のラインを隠し、肌の露出を控えます。日本にいる時の格好で歩くと熱い視線を浴びることになり、嫌になるようです。



▼応募相談・活動などボランティアに関するお問い合わせは

独立行政法人 国際協力機構 札幌国際センター(JICA 札幌)

Eメール sictpp@jica.go.jp TEL: 011-866-8393 〒003-0026 札幌市白石区本通16丁目南4番25号



誰でも気軽に立ち寄っておしゃべりができる「地域のお茶の間」は、集まった人たちとおしゃべりをしたり、ゲームや料理などをしながら、一緒に楽しい時間を過ごすことができるスペースです。

ホームページで札幌市内を中心に、300ヶ所を紹介中!

お茶の間めぐり

検索

このコーナーは、赤い羽根共同募金の支援を受けています。

Vol.37

中の島いきいきサロン「脳の健康教室」

- 場 所 札幌市豊平区中の島1条7丁目4-1 札幌ハイツ1階集会場
- 日 時 毎週木曜日 10:00~12:00
- 参加費 ひと月2,500円(教材代)
- 参加対象 65歳以上を対象にしていますが、どなたでも
- 主催・連絡先 男澤(おざわ) 携帯:090-2877-5876



お茶の間について

認知症予防のための脳の健康教室(中の島介護予防センター)でサポーターをしていた男澤が、教室終了を機に、ボランティアの方々と共にサロンを開設し、「脳の健康教室」部を2年前に開講しました。東北大学・川島隆太教授の脳機能イメージ研究によって作られた方法で、前頭前野(脳の中でも重要な部分で、脳の前方にある)を活性化させる「読み書き」「計算」のトレーニングと、ゲームのような教材「すうじ盤」を使った学習をしています。70代の方が多く、最高齢者は85歳です。学習が終わった後は、みんなでお茶を飲みながらおしゃべりをして、楽しく過ごしています。



メッセージ

「脳の健康教室」を行なっているのは、札幌ではここだけです。認知症の予防、学びを通じた人と人との交流、生きがいづくりをしませんか。もっと多くの方にいらしていただき、明るく活力ある地域社会づくりに貢献したいと思っています。参加者からは、「認知症になりたくない。家族に迷惑をかけたくない」、「一人暮らしで人と交流する機会は少ないが、教室に週一回参加することで、皆さんといろいろな話ができて元気がでる」という声をいただいています。見学可能なので、関心のある方は開講時間中にいらしてください。サポーターも募集しています。ご連絡をお待ちしております。

ボラナビカフェを毎月開催しています。

- 10月 9日(土)、16日(土)、19日(火)、21日(木)、23日(土)、30日(土)
- 11月 6日(土)、13日(土)、20日(土)、24日(水)、27日(土)

全て10:00~11:30
参加費無料の日や、無料の託児付きの日があります。
詳細は3ページをご覧ください。

8月の

事務局の1ヶ月を
振り返りつつご紹介



- 2(月) ●札幌市が発行する「市民活動に関するチラシ」の作製をお手伝いすることになり、担当者たちと打ち合わせ。
- 3(火) ●ボラナビに広告を掲載している方が事務局に立ち寄ってくださった。●あるテレビ番組を制作している会社から、アンケートが送られてきた。その番組をよく見ている村上が回答した。
- 9(月) ●行方不明になった障がい者を探している方から、検索方法について問い合わせをいただく。以前ボラナビに掲載した団体に連絡して情報を集めた。
- 10(火) ●札幌市内で「地域のお茶の間」を運営している方が事務局にいらして、活動について教えてくれた。●専門性を活かせる団体があるか、問い合わせをいただいた。最近話題になっている「プロボノ」

- (ラテン語の pro bono publico を略した言葉で、仕事で培った知識やスキルを活かした社会貢献活動)だ。
- 11(水) ●「ボラナビ・コールサービス」をご存知ですか。連絡先を公開したくない、または日中に問い合わせを受けられない市民団体などの窓口をボラナビが請け負うサービスのこと。詳細は裏表紙に。今日から、ある団体の委託を受けることになった。
- 14(土) ●ボラナビカフェを開催。耳が不自由な参加者がいたので、スタッフがパソコンで各方の発言をメモし、それを画面で見えながら話し合いを進めた。
- 20(金) ●ボラナビ9月号ができあがり、発行部数のうち3万部弱が印刷会社から運ばれてきた。そのため、数日間は事務局が手狭になる。
- 21(土) ●ボラボラ(ボラナビ倶楽部のボランティア)さんが、ボラナビの梱包や事務所周辺企業への配達をしてくれた。
- 23(月) ●大雨の中、市役所にボラナビ3千部を配達した。ボラボラさん、いつもありがとうございます。
- 25(水) ●札幌市主催の「NPO との情報交換会」に、森田と高山が出席。●カフェに参加された方が来所して、「いろいろな人と知り合えてよかった。勉強になった」とおっしゃってくれた。励みになる。

月刊ボラナビの配置先 (今月は札幌市豊平区をご紹介) ボラナビは毎月25日に約1,000ヶ所に配置しています。

●札幌市 ●豊平区/札幌大学/北海学園大学/札幌大学学生食堂/コープさっぽろ(中の島店・美園店)/札幌東光ストア(豊平店・平岸ターミナル店)/マックスバリュ(月寒中央店・豊平店・平岸店・西岡店)/スーパーJOY(プライスマート平岸店・東月寒店)/フレットィ(月寒東店・西岡店・西岡中央店)/北雄ラッキー西岡店/ラルズ(本社・平岸店)/ポストフル西岡店/文教堂平岸店/札幌日産自動車(月寒支店・平岸支店)/柳日産サテオ月寒営業所/Honda Cars 札幌(中央月寒店・月寒羊ヶ丘店)/Honda Cars 南札幌平岸店/福住珈琲焙煎店/豊平若者活動センター/豊平区社会福祉協議会/豊平区民センター/豊平区役所/西岡図書館/地区センター(西岡福住・東月寒)/月寒公民館/豊平公園温水プール/まちづくりセンター(豊平・美園・月寒・平岸・中の島・西岡・福住・東月寒・南平岸)/月寒体育館/平岸プール/札幌信用金庫(月寒支店・豊平支店)/北海道銀行(月寒支店・豊平支店・西岡支店・平岸支店)/北洋銀行(豊平支店・月寒中央支店)/中和石油(ニュー平岸・東LPG)北海道エネルギー(旭町・南平岸・羊ヶ丘・西岡・豊平2条・札幌大学前・セルフ美園)/こまどば鶴喜(美園店・豊平店)/びっくりドンキー(西岡店・平岸店・ミュンヘン大橋店)/ノエル/ニトリ月寒中央店

その他の配置先は、ボラナビホームページをご覧ください。

※配置にご協力いただいている皆さま、ありがとうございます。札幌市内の小中学校と北海道内の社会福祉協議会に配付しています。

遊佐新聞販売株式会社様、有限会社北海道新聞中田専売所様の協力で、札幌市の一部地域で北海道新聞に折り込み配布をしています。一部地域では、ポスティングをしています。



ボラナビに情報を掲載した方からのご意見、ご感想を紹介するコーナーです。

▼就職活動中の学生の応募も多く、異年齢者との交流を通して元気になっていくようだ。彼らが就職できるように、**社会人のマナー**なども伝えられる場としていきたい。

▼集まってくる人たちの意識は高く、こちらの**期待**以上だった。

▼ボラナビを見た、と**テレビ局の方が**取材に来た。

▼**ボランティア**に関心のある**若者が**多いと分かり、嬉しかった。

ボラナビ倶楽部を支援してくださった方々 (タチツ順)

株式会社土屋ホーム様

北雄ラッキー株式会社様

遊佐新聞販売株式会社様

寺岡ファシリティーズ株式会社様

北海道銀行様

札幌信用金庫様

富永マサエ様

北海道新聞社様

株式会社 HBA 様

中道リース株式会社様

有限会社北海道新聞中田専売所様

城宝和茂様

株式会社ニトリ様

北海道文化放送様

進藤芳彦様

匿名希望者様

森田雄二様

生活クラブ生活協同組合様

寄付金について

月刊ボラナビの発行は、企業や個人の方々からの寄付金でまかなわれています。10,000円以上の寄付金や、この欄への10,500円の寄付広告をいただいた際は、誌面でお名前をご紹介します。また、札幌市のさぽーとほっと基金を利用してボラナビに寄付をすると、個人なら所得税及び住民税の寄付金税額控除、法人なら全額損金算入が可能です。☎札幌市市民まちづくり局 TEL: 011-211-2964 メール shimin-support@city.sapporo.jp

■情報掲載料金 (各1号につき)

種類	サイズ (天地×左右)	料金
Sサイズ (企業・行政)	50 mm×76 mm	31,500円
Mサイズ (企業・行政)	50 mm×157 mm	63,000円
Mサイズ (NPO・NGO)	50 mm×157 mm	5,250円
Lサイズ (NPO・NGO)	100 mm×157 mm	10,500円
無料掲載 (NPO・NGO)	サイズの希望は受けられません。また、誌面の都合により掲載できなくなる場合があります。	無料
裏表紙	50 mm×157 mm	105,000円
バナー広告	60ピクセル×120ピクセル	52,500円 (1,750円/日)

※前払いでお願いいたします。

※「製作済みの版下」または「テキスト (あれば写真やイラストも)」をご提出ください。企業・行政の広告はデザイン性のあるものにしていただきたいと思いますので、版下の提出が難しい場合は、ボラナビ倶楽部が適切なデザインを別料金で制作いたします。(M=6,300円、S=4,200円、バナー広告=6,300円)。NPO・NGO 広告もデザイン性を持たせることは可能です (L=8,400円)。

※ボラナビ倶楽部のホームページ (ボラナビ・サーチ) への情報掲載は無料です。ただし、企業・行政でお申し込みの際は、協賛・寄付をご検討ください。みなさまのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。(2010年7月改定)

■定期購読のご案内

●各号1部 (6ヶ月間)……………1,575円

複数部を希望される場合は、ボラナビ倶楽部までお問い合わせください。

●お申し込み方法 定期購読ご希望の方は、ボラナビ倶楽部までご連絡ください。

定期購読のお申し込みをされる場合は、寄付または寄付広告をご検討ください。詳細は上記の「寄付金について」をご覧ください。

ボラナビ倶楽部へのお振り込みは

■ゆうちょ銀行 (郵便振替)
02700-1-5671

■北洋銀行北七条支店
(普)3662056

■北海道銀行札幌駅北口支店
(普)0816050

■北海道労働金庫道庁支店
(普)3153060

■札幌信用金庫本店
(普)4255071

●口座名: ボラナビ倶楽部

※北海道労働金庫の窓口でお振り込みの際は、手数料はかかりません。

■クレジットカードによる支払いも可能です。詳細はボラナビのホームページでご確認ください。

■ボラナビモバイル



QRコード対応携帯のみ

ボラナビ倶楽部の会員になりませんか?

社会を変えたい人

一緒にボラナビを育ててみたい人

市民活動やボランティアに興味がある人

ボラナビに情報・広告を載せたい人

■年額 / 個人5千円、法人1万円。

■特典 / 月刊ボラナビが毎月自宅に送られてくる。ボラナビカフェに無料で参加できる (月1回)。法人会員は、有料広告枠を1割引で利用できるなど。ぜひお申し込みください。

■お申込み・詳細 / ホームページで検索

※会員期間は、2010年4月~2011年3月です。

NPO 法人ボラナビ倶楽部 ● volunavi@npohokkaido.jp ● TEL 011-242-2042